531801

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2000年８月11日設定）	
運用方針	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、わが国を除く世界主要国の公社債への分散投資により、信託財産の長期的な成長をめざします。（ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	毎年１回決算（原則として12月15日。ただし、12月15日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱ＵＦＪ 海外債券オープン

第16期（決算日：2015年12月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱ＵＦＪ 海外債券オープン」は、去る12月15日に第16期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱ＵＦＪ投信株式会社は2015年７月１日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱ＵＦＪ国際投信株式会社」となりました。

三菱UFJ国際投信
MUFG
東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:http://www.am.mufg.jp/

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル TEL.0120-151034
（9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目 次

三菱ＵＦＪ 海外債券オープンのご報告

◇最近５期の運用実績 …… 1
◇当期中の基準価額と市況等の推移 …… 2
◇運用経過 …… 3
◇今後の運用方針 …… 7
◇１万口当たりの費用明細 …… 8
◇売買及び取引の状況 …… 8
◇利害関係人との取引状況等 …… 9
◇組入資産の明細 …… 9
◇投資信託財産の構成 …… 9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況 …… 10
◇損益の状況 …… 10
◇お知らせ …… 11

マザーファンドのご報告

◇三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド …… 12

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期(2011年12月15日)	14,655	0	△ 3.0	280.08	△ 1.4	95.9	－	5,322
13期(2012年12月17日)	16,543	100	13.6	322.53	15.2	97.5	－	6,417
14期(2013年12月16日)	20,473	100	24.4	404.59	25.4	97.5	－	8,055
15期(2014年12月15日)	24,417	100	19.8	479.55	18.5	97.8	－	10,430
16期(2015年12月15日)	23,727	0	△ 2.8	465.14	△ 3.0	97.3	－	10,189

（注）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注）シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）とは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
（注）外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		シティ世界国債インデックス		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率	(除く日本・円ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2014年12月15日	24,417	－	479.55	－	97.8	－
12月末	24,564	0.6	482.55	0.6	96.9	－
2015年１月末	23,954	△1.9	467.27	△2.6	97.9	－
２月末	24,063	△1.4	469.43	△2.1	98.4	－
３月末	24,024	△1.6	465.96	△2.8	98.0	－
４月末	23,920	△2.0	467.47	△2.5	98.3	－
５月末	24,256	△0.7	477.01	△0.5	97.5	－
６月末	23,772	△2.6	468.92	△2.2	96.0	－
７月末	24,152	△1.1	475.96	△0.7	97.3	－
８月末	23,762	△2.7	467.18	△2.6	96.5	－
９月末	23,738	△2.8	465.88	△2.9	97.7	－
10月末	23,763	△2.7	467.32	△2.6	96.2	－
11月末	23,779	△2.6	467.10	△2.6	96.7	－
(期末)						
2015年12月15日	23,727	△2.8	465.14	△3.0	97.3	－

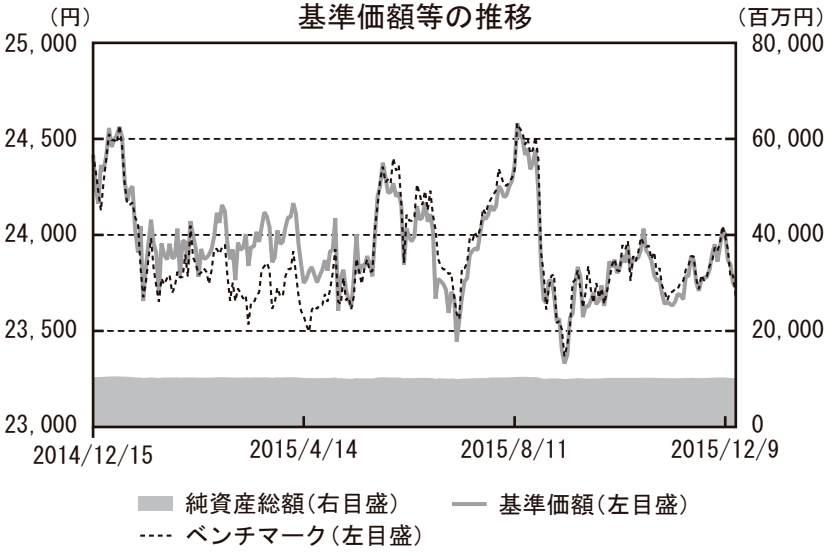
(注) 騰落率は期首比。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第16期：2014/12/16～2015/12/15）

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ2.8%の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－3.0%）を0.2%上回りました。



第16期首　：　24,417円
第16期末　：　23,727円
（既払分配金　　0円）
騰落率　　：　　−2.8%

基準価額の主な変動要因

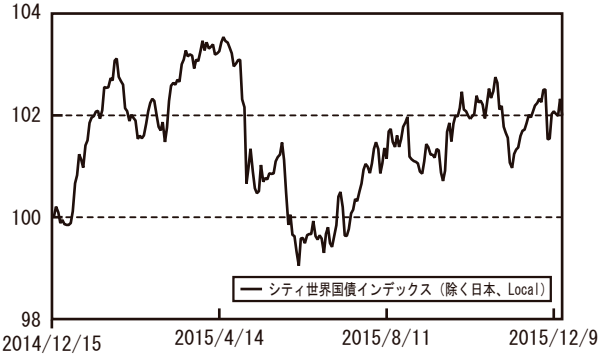
上昇要因	欧米長期金利が低下（債券価格は上昇）したことや、米ドルが円に対して上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ユーロが円に対して大きく下落したことなどが基準価額の主な下落要因となりました。

投資環境について

（第16期：2014/12/16～2015/12/15）

債券市況の推移

（期首を100として指数化）

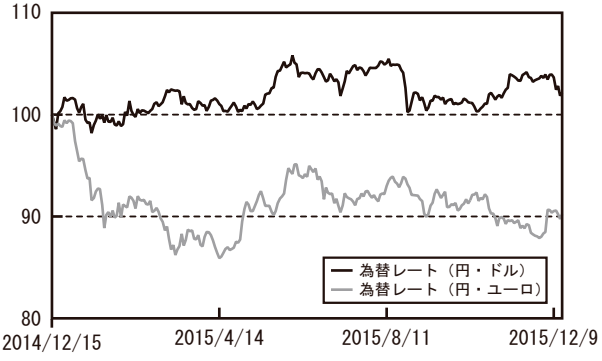


◎海外債券市況

・欧米長期金利は、米国では上昇（債券価格は下落）した一方、ユーロ圏では低下しました。期首から2015年４月中旬までは、先進国のインフレ期待の低下や１月のＥＣＢ（欧州中央銀行）理事会で国債買取りを中心とした資産購入プログラムが決定されたことなどから欧米長期金利は低下傾向にありました。４月下旬から６月下旬にかけては、ユーロ圏で物価が上昇しつつある兆候が見られたことなどから欧州長期金利は大幅に上昇、米国長期金利も連動する形で上昇しました。その後、10月下旬にかけて、新興国の景気減速懸念や原油などの商品市況の下落を受けてインフレ期待が低下したことなどから欧米長期金利は低下しました。10月下旬に開催されたＦＯＭＣ（米連邦公開市場委員会）の声明文における次回12月の会合で政策金利の引き上げについて議論する旨の内容を受け、米国を中心に長期金利が上昇する局面があり、期を通じて見ると米国長期金利は上昇、ユーロ圏の長期金利は低下して終えました。

為替市況の推移

（期首を100として指数化）



◎為替市況

・米ドルは円に対して上昇した一方、ユーロは円に対して下落しました。米ドルは新興国からの資金流出フローや、日本は金融緩和強化、米国は金融正常化模索という日米の金融政策の方向性の違いから対円で上昇しました。ユーロはＥＣＢによる資産購入プログラムの決定や追加金融緩和期待が持続したことなどが円高・ユーロ安要因となり、ユーロは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜三菱ＵＦＪ 海外債券オープン＞

・当ファンドは三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて、わが国を除く世界主要国の公社債に投資をしています。債券の実質組入比率は、運用の基本方針にしたがい90%以上の水準を維持しました。

＜三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド＞

基準価額は期首に比べ1.8%の下落となりました。

・わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行い、期を通じて債券の組入比率は90%以上で推移させ、期末は97.6%としました。
・当期は、ユーロが円に対して下落したことなどから、基準価額は下落しました。
・債券デュレーション（平均回収期間や金利感応度）については、米国において政策金利の引き上げ期待が高まると見込み、2015年７月下旬から８月にかけて米国の債券デュレーションを一時的にベンチマーク比短めにしたものの、その他の期間では新興国の景気減速懸念や原油などの商品市況の下落を受けてインフレ期待が低下することなどを見込み、欧米の債券デュレーションを同中立から長めでコントロールしました。
・欧州において、周辺国の景気・金融両面の安定から周辺国国債のドイツ国債に対するスプレッド（利回り格差）が縮小すると判断し、イタリア、スペイン、アイルランドなどをベンチマーク比オーバーウェイト（投資比率を基準となる配分比率より多くすること）中心にコントロールしました。
・また、欧州圏の貸出態度の緩和による信用緩和などを受け、欧州スプレッドのタイト化を見込み、2015年２月より新規にユーロ建ての社債の組み入れを行いました。保有していたユーロ建ての社債については、米国を始めとする金融政策の見通しへの不透明感から市場のボラティリティ（価格の変動性）が上昇する展開を見込み、10月に売却を行いました。
・カントリーアロケーション戦略については、期末時点では、ベンチマーク比米ドルをオーバーウェイト、カナダドルをアンダーウェイト（投資比率を基準となる配分比率より少なくすること）としています。期を通じて、原油や鉄鉱石などのコモディティの価格低迷と利下げ観測の高まりからカナダドルと豪ドルの下落を見込み、ベンチマーク比中立からアンダーウェイトでコントロールしました。期首から2015年３月下旬までは、金融政策の方向性の差異から米ドルをベンチマーク比オーバーウェイトとしましたが、その後、７月初めまで金融市場の安定などから全般的に新興国通貨が選好されると判断し、ポーランドズロチとメキシコペソをベンチマーク比オーバーウェイトとしました。７月以降は、中国を始めとする新興国に対する懸念の高まりなどから先進国主要通貨への資金回帰を見込み、米ドルとユーロをベンチマーク比中立からオーバーウェイトでコントロールしました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

期首（2014年12月15日）

最終利回り	1.7%
直接利回り	3.0%
デュレーション	7.7年

・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

期末（2015年12月15日）

最終利回り	1.6%
直接利回り	2.7%
デュレーション	7.3年

・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

＜三菱ＵＦＪ 海外債券オープン＞

ファンドの騰落率は、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）の3.0%の下落を0.2%上回りました。

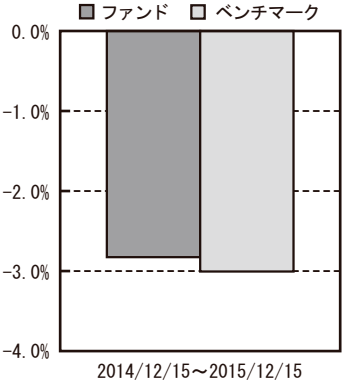
＜三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド＞

ファンドの騰落率は、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）の3.0%の下落を1.2%上回りました。

（プラス要因）

・期首から2015年４月と９月から11月にかけて、物価の下振れリスクなどからＥＣＢの追加緩和観測が高まり、欧州長期金利が低下すると見込み、デュレーションをベンチマーク比長めにしていたことがプラスに寄与しました。
・期首から2015年３月と10月から11月にかけて、欧州周辺国の景気・金融両面の安定から周辺国国債のドイツ国債に対するスプレッドが縮小したため、概ねベンチマーク比でイタリア、スペイン、アイルランドなどをオーバーウェイト、ドイツ、フランス、オランダなどをアンダーウェイト中心にコントロールしたことがプラス要因となりました。

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】　（単位：円、１万口当たり、税込み）

項目		第16期 2014年12月16日～2015年12月15日
当期分配金 （対基準価額比率）		－ －％
	当期の収益	－
	当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額		16,519

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

＜三菱ＵＦＪ 海外債券オープン＞

◎今後の運用方針

・三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券の組入比率を高位（概ね90％以上）とする方針です。

＜三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド＞

◎運用環境の見通し

・米国では、雇用の改善基調が続く中、個人消費中心に米国経済は当面底堅く推移するものと考えます。一方で、新興国を中心とした海外の景気減速懸念が続く見通しであることや、国内のインフレ動向が低位で落ち着いていることなどから、長期金利の上昇を抑制するものと考えます。欧州では、ＥＣＢが国債買取りを中心とした資産購入プログラムを強化する見通しなどから、債券の期間プレミアムの低下によって長期金利に低下余地があると考えます。為替市場では、日銀は「物価安定の目標」の実現に向けて、現行の金融緩和政策を維持するものと思われるため、円相場は緩やかな下落期待が維持されそうです。

◎今後の運用方針

・前記の運用環境の見通しに基づき、金利戦略においては、各国の景気動向に加え、非伝統的な金融緩和政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

○１万口当たりの費用明細

(2014年12月16日～2015年12月15日)

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	259	1.080	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(129)	(0.540)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(117)	(0.486)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
（受託会社）	(13)	(0.054)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	7	0.031	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.027)	外国での資産の保管等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	266	1.111	
期中の平均基準価額は、23,978円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年12月16日～2015年12月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定 口数	設定 金額	解約 口数	解約 金額
	千口	千円	千口	千円
三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド	260,790	784,978	280,437	841,634

○利害関係人との取引状況等

（2014年12月16日～2015年12月15日）

利害関係人との取引状況

＜三菱ＵＦＪ 海外債券オープン＞

該当事項はございません。

＜三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド＞

区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	9,366	0.1841	0.0	29,546	2,025	6.9

平均保有割合　16.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京ＵＦＪ銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行です。

○組入資産の明細

（2015年12月15日現在）

親投資信託残高

銘　　柄	期首(前期末)	当　　期　　末	
	口　　数	口　　数	評　価　額
	千口	千口	千円
三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド	3,410,530	3,390,884	10,163,836

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2015年12月15日現在）

項　　目	当　　期　　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド	10,163,836	99.2
コール・ローン等、その他	83,069	0.8
投資信託財産総額	10,246,905	100.0

（注）三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（54,556,195千円）の投資信託財産総額（57,008,710千円）に対する比率は95.7%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル＝121.16円	1カナダドル＝88.30円	1メキシコペソ＝6.98円	1ユーロ＝133.34円
1イギリスポンド＝183.62円	1スウェーデンクローネ＝14.30円	1ノルウェークローネ＝13.99円	1ポーランドズロチ＝30.54円
1オーストラリアドル＝87.83円	1シンガポールドル＝86.06円	1マレーシアリンギット＝27.96円	1南アフリカランド＝8.02円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年12月15日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,246,905,377
コール・ローン等	82,923,043
三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド(評価額)	10,163,836,921
未収入金	145,283
未収利息	130
(B) 負債	57,464,993
未払解約金	2,026,894
未払信託報酬	55,239,295
その他未払費用	198,804
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	10,189,440,384
元本	4,294,491,927
次期繰越損益金	5,894,948,457
(D) 受益権総口数	4,294,491,927口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	23,727円

＜注記事項＞

①期首元本額　4,272,054,513円
　期中追加設定元本額　693,959,222円
　期中一部解約元本額　671,521,808円
　また、１口当たり純資産額は、期末2.3727円です。

○損益の状況 (2014年12月16日～2015年12月15日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	36,915
受取利息	36,915
(B) 有価証券売買損益	△ 154,494,947
売買益	22,949,960
売買損	△ 177,444,907
(C) 信託報酬等	△ 111,132,639
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 265,590,671
(E) 前期繰越損益金	2,571,451,510
(F) 追加信託差損益金	3,589,087,618
(配当等相当額)	(4,337,171,280)
(売買損益相当額)	(△ 748,083,662)
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	5,894,948,457
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	5,894,948,457
追加信託差損益金	3,589,087,618
(配当等相当額)	(4,338,806,597)
(売買損益相当額)	(△ 749,718,979)
分配準備積立金	2,755,664,129
繰越損益金	△ 449,803,290

(注) (B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項　　目	2014年12月16日～2015年12月15日
費用控除後の配当等収益額	184,212,619円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	4,338,806,597円
分配準備積立金額	2,571,451,510円
当ファンドの分配対象収益額	7,094,470,726円
１万口当たり収益分配対象額	16,519円
１万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

＊三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（http://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

［お知らせ］

①2015年７月１日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（2015年７月１日）

②2014年１月１日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15％に2.1％の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％（法人受益者は15.315％の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド

《第16期》決算日2015年12月15日

［計算期間：2014年12月16日～2015年12月15日］

「三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド」は、12月15日に第16期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。 運用にあたっては、各国のマクロ分析や金利予測に基づいて、カントリーアロケーション、デュレーションおよび残存構成のコントロール、利回り較差に着目した銘柄選択でアクティブに超過収益の獲得をめざします。さらに、ポートフォリオとベンチマークを比較分析することにより、リスクのチェックとコントロールを行います。 組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。 公社債の組入比率は高位（通常の状態で90%以上）を基本とします。 （ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）
主要運用対象	わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		シティ世界国債インデックス		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率	(除く日本・円ベース)	期中騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
12期(2011年12月15日)	17,446	△ 2.0	280.08	△ 1.4	96.1	－	105,171
13期(2012年12月17日)	20,031	14.8	322.53	15.2	97.7	－	100,441
14期(2013年12月16日)	25,193	25.8	404.59	25.4	97.8	－	100,167
15期(2014年12月15日)	30,511	21.1	479.55	18.5	98.1	－	75,994
16期(2015年12月15日)	29,974	△ 1.8	465.14	△ 3.0	97.6	－	54,634

(注) シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）とは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		シティ世界国債インデックス		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率	(除く日本・円ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2014年12月15日	30,511	－	479.55	－	98.1	－
12月末	30,708	0.6	482.55	0.6	97.2	－
2015年１月末	29,971	△1.8	467.27	△2.6	98.2	－
２月末	30,133	△1.2	469.43	△2.1	98.6	－
３月末	30,113	△1.3	465.96	△2.8	98.2	－
４月末	30,009	△1.6	467.47	△2.5	98.5	－
５月末	30,460	△0.2	477.01	△0.5	97.7	－
６月末	29,881	△2.1	468.92	△2.2	96.3	－
７月末	30,388	△0.4	475.96	△0.7	97.6	－
８月末	29,924	△1.9	467.18	△2.6	96.7	－
９月末	29,921	△1.9	465.88	△2.9	97.9	－
10月末	29,979	△1.7	467.32	△2.6	96.5	－
11月末	30,027	△1.6	467.10	△2.6	96.9	－
(期末) 2015年12月15日	29,974	△1.8	465.14	△3.0	97.6	－

(注) 騰落率は期首比。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

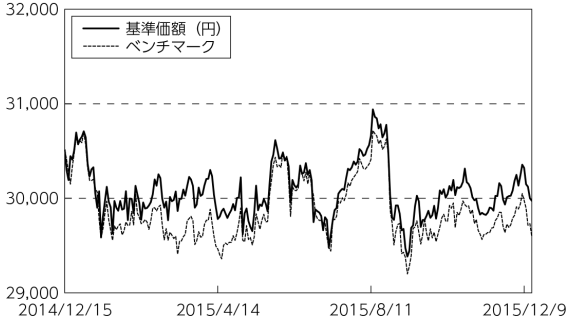
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.8%の下落となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－3.0%）を1.2%上回りました。

基準価額の推移



（注）ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎海外債券市況

・欧米長期金利は、米国では上昇（債券価格は下落）した一方、ユーロ圏では低下しました。期首から2015年４月中旬までは、先進国のインフレ期待の低下や１月のＥＣＢ（欧州中央銀行）理事会で国債買取りを中心とした資産購入プログラムが決定されたことなどから欧米長期金利は低下傾向にありました。４月下旬から６月下旬にかけては、ユーロ圏で物価が上昇しつつある兆候が見られたことなどから欧州長期金利は大幅に上昇、米国長期金利も連動する形で上昇しました。その後、10月下旬にかけて、新興国の景気減速懸念や原油などの商品市況の下落を受けてインフレ期待が低下したことなどから欧米長期金利は低下しました。10月下旬に開催されたＦＯＭＣ（米連邦公開市場委員会）の声明文における次回12月の会合で政策金利の引き上げについて議論する旨の内容を受け、米国を中心に長期金利が上昇する局面があり、期を通じて見ると米国長期金利は上昇、ユーロ圏の長期金利は低下して終えました。

◎為替市況

・米ドルは円に対して上昇（円安）した一方、ユーロは円に対して下落しました。米ドルは新興国からの資金流出フローや、日本は金融緩和強化、米国は金融正常化模索という日米の金融政策の方向性の違いから対円で上昇しました。ユーロはＥＣＢによる資産購入プログラムの決定や追加金融緩和期待が持続したことなどが円高・ユーロ安要因となり、ユーロは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行い、期を通じて債券の組入比率は90%以上で推移させ、期末は97.6%としました。
・当期は、ユーロが円に対して下落したことなどから、基準価額は下落しました。
・債券デュレーション（平均回収期間や金利感応度）については、米国において政策金利の引き上げ期待が高まると見込み、2015年７月下旬から８月にかけて米国の債券デュレーションを一時的にベンチマーク比短めにしたものの、その他の期間では新興国の景気減速懸念や原油などの商品市況の下落を受けてインフレ期待が低下することなどを見込み、欧米の債券デュレーションを同中立から長めでコントロールしました。
・欧州において、周辺国の景気・金融両面の安定から周辺国国債のドイツ国債に対するスプレッド（利回り格差）が縮小すると判断し、イタリア、スペイン、アイルランドなどをベンチマーク比オーバーウェイト（投資比率を基準となる配分比率より多くすること）中心にコントロールしました。
・また、欧州圏の貸出態度の緩和による信用緩和などを受け、欧州スプレッドのタイト化を見込み、2015年２月より新規にユーロ建ての社債の組み入れを行いました。保有していたユーロ建ての社債については、米国を始めとする金融政

策の見通しへの不透明感から市場のボラティリティ(価格の変動性)が上昇する展開を見込み、10月に売却を行いました。
・カントリーアロケーション戦略については、期末時点では、ベンチマーク比米ドルをオーバーウェイト、カナダドルをアンダーウェイト（投資比率を基準となる配分比率より少なくすること）としています。期を通じて、原油や鉄鉱石などのコモディティの価格低迷と利下げ観測の高まりからカナダドルと豪ドルの下落を見込み、ベンチマーク比中立からアンダーウェイトでコントロールしました。期首から2015年３月下旬までは、金融政策の方向性の差異から米ドルをベンチマーク比オーバーウェイトとしましたが、その後、７月初めまで金融市場の安定などから全般的に新興国通貨が選好されると判断し、ポーランドズロチとメキシコペソをベンチマーク比オーバーウェイトとしました。７月以降は、中国を始めとする新興国に対する懸念の高まりなどから先進国主要通貨への資金回帰を見込み、米ドルとユーロをベンチマーク比中立からオーバーウェイトでコントロールしました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について
・ファンドの騰落率は、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）の3.0%の下落を1.2%上回りました。

（プラス要因）
・期首から2015年４月と９月から11月にかけて、物価の下振れリスクなどからＥＣＢの追加緩和観測が高まり、欧州長期金利が低下すると見込み、デュレーションをベンチマーク比長めにしていたことがプラスに寄与しました。
・期首から2015年３月と10月から11月にかけて、欧州周辺国の景気・金融両面の安定から周辺国国債のドイツ国債に対するスプレッドが縮小したため、概ねベンチマーク比でイタリア、スペイン、アイルランドなどをオーバーウェイト、ドイツ、フランス、オランダなどをアンダーウェイト中心にコントロールしたことがプラス要因となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し
・米国では、雇用の改善基調が続く中、個人消費中心に米国経済は当面底堅く推移するものと考えます。一方で、新興国を中心とした海外の景気減速懸念が続く見通しであることや、国内のインフレ動向が低位で落ち着いていることなどから、長期金利の上昇を抑制するものと考えます。欧州では、ＥＣＢが国債買取りを中心とした資産購入プログラムを強化する見通しなどから、債券の期間プレミアムの低下によって長期金利に低下余地があると考えます。為替市場では、日銀は「物価安定の目標」の実現に向けて、現行の金融緩和政策を維持するものと思われるため、円相場は緩やかな下落期待が維持されそうです。

◎今後の運用方針
・前記の運用環境の見通しに基づき、金利戦略においては、各国の景気動向に加え、非伝統的な金融緩和政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2014年12月16日～2015年12月15日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	8	0.026	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(8)	(0.026)	外国での資産の保管等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	8	0.026	
期中の平均基準価額は、30,126円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2014年12月16日～2015年12月15日）

公社債

			買　付　額	売　付　額
外国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 240,696	千アメリカドル 296,530
	カナダ	国債証券	千カナダドル 562	千カナダドル 16,208
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 195,948	千メキシコペソ 204,494
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	87,295	108,155
	イタリア	国債証券	140,708	160,497
	フランス	国債証券	71,951	54,983
		社債券	5,439	5,265
	オランダ	国債証券	11,412	8,694
		社債券	12,308	11,824
	スペイン	国債証券	64,503	96,529
	ベルギー	国債証券	1,637	9,852
	アイルランド	国債証券	19,215	20,428
	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 3,342	千イギリスポンド 9,101 (　4,000)
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローネ 8,954	千スウェーデンクローネ 14,734
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 2,013	千ノルウェークローネ 5,685
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 37,487	千ポーランドズロチ 40,678
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 12,224	千オーストラリアドル 2,061
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル －	千シンガポールドル 1,034
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリンギット －	千マレーシアリンギット 4,102
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド －	千南アフリカランド 6,024

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注）社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2014年12月16日～2015年12月15日）

利害関係人との取引状況

区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	9,366	0.1841	0.0	29,546	2,025	6.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京ＵＦＪ銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年12月15日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債　種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	189,000	198,246	24,019,591	44.0	－	27.9	9.6	6.4
	千カナダドル	千カナダドル						
カナダ	100	109	9,627	0.0	－	0.0	－	－
	千メキシコペソ	千メキシコペソ						
メキシコ	75,000	82,803	577,969	1.1	－	0.9	－	0.1
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	2,000	2,189	291,987	0.5	－	0.5	－	－
イタリア	57,000	68,456	9,128,043	16.7	－	12.9	3.8	－
フランス	19,000	20,753	2,767,265	5.1	－	5.1	－	－
オランダ	8,500	10,599	1,413,330	2.6	－	2.6	－	－
スペイン	28,000	36,031	4,804,380	8.8	－	7.4	1.4	－
ベルギー	2,000	2,694	359,244	0.7	－	0.7	－	－
アイルランド	21,000	22,259	2,968,041	5.4	－	5.4	－	－
	千イギリスポンド	千イギリスポンド						
イギリス	19,700	24,576	4,512,671	8.3	－	4.4	3.9	－
	千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ						
スウェーデン	14,000	17,434	249,306	0.5	－	0.1	0.4	－
	千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ						
ノルウェー	9,000	10,058	140,717	0.3	－	0.3	－	－
	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ						
ポーランド	16,000	17,206	525,483	1.0	－	0.4	0.2	0.4
	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル						
オーストラリア	8,700	10,118	888,711	1.6	－	1.6	－	－
	千シンガポールドル	千シンガポールドル						
シンガポール	2,000	2,140	184,245	0.3	－	0.2	0.2	－
	千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット						
マレーシア	9,000	8,778	245,446	0.4	－	0.2	－	0.3
	千南アフリカランド	千南アフリカランド						
南アフリカ	37,000	29,030	232,825	0.4	－	0.3	0.2	－
合計	－	－	53,318,891	97.6	－	70.8	19.6	7.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(Ｂ)外国(外貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄			当期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	0.375 T-NOTE 160315	0.375	17,000	17,003	2,060,122	2016/3/15
		0.625 T-NOTE 160715	0.625	12,000	11,999	1,453,806	2016/7/15
		1.375 T-NOTE 200131	1.375	5,000	4,967	601,895	2020/1/31
		1.625 T-NOTE 190630	1.625	12,000	12,098	1,465,846	2019/6/30
		1.75 T-NOTE 220515	1.75	14,000	13,827	1,675,368	2022/5/15
		1.75 T-NOTE 230515	1.75	20,000	19,571	2,371,328	2023/5/15
		2 T-NOTE 220731	2.0	37,000	37,040	4,487,823	2022/7/31
		2.75 T-NOTE 240215	2.75	24,000	25,128	3,044,599	2024/2/15
		3.125 T-BOND 430215	3.125	3,000	3,105	376,286	2043/2/15
		3.125 T-BOND 440815	3.125	3,000	3,097	375,264	2044/8/15
		3.125 T-NOTE 190515	3.125	15,000	15,896	1,926,018	2019/5/15
		3.875 T-BOND 400815	3.875	7,000	8,270	1,002,040	2040/8/15
		4.5 T-BOND 360215	4.5	7,000	9,086	1,100,899	2036/2/15
		4.75 T-BOND 410215	4.75	5,000	6,716	813,759	2041/2/15
		8.75 T-BOND 200515	8.75	8,000	10,436	1,264,531	2020/5/15
小計						24,019,591	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	2.5 CAN GOVT 240601	2.5	100	109	9,627	2024/6/1
小計						9,627	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	20,000	25,144	175,510	2024/12/5
		6.25 MEXICAN BONO 160616	6.25	10,000	10,137	70,762	2016/6/16
		6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	35,000	35,903	250,605	2022/6/9
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	10,000	11,617	81,090	2038/11/18
小計						577,969	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	1.5 BUND 240515	1.5	2,000	2,189	291,987	2024/5/15
イタリア	国債証券	0.25 ITALY GOVT 180515	0.25	12,000	12,017	1,602,400	2018/5/15
		2 ITALY GOVT 251201	2.0	8,000	8,270	1,102,828	2025/12/1
		4.25 ITALY GOVT 200301	4.25	3,000	3,467	462,403	2020/3/1
		4.75 ITALY GOVT 280901	4.75	5,000	6,578	877,143	2028/9/1
		5 ITALY GOVT 400901	5.0	6,000	8,557	1,141,017	2040/9/1
		5.5 ITALY GOVT 220901	5.5	21,000	26,989	3,598,739	2022/9/1
		5.5 ITALY GOVT 221101	5.5	2,000	2,576	343,510	2022/11/1
フランス	国債証券	0.5 O.A.T 250525	0.5	7,000	6,784	904,631	2025/5/25
		2.25 O.A.T 221025	2.25	11,000	12,409	1,654,702	2022/10/25
		4 O.A.T 600425	4.0	1,000	1,559	207,930	2060/4/25
オランダ	国債証券	2.75 NETH GOVT 470115	2.75	500	652	87,024	2047/1/15
		3.75 NETH GOVT 230115	3.75	8,000	9,946	1,326,306	2023/1/15
スペイン	国債証券	4.3 SPAIN GOVT 191031	4.3	5,000	5,729	763,971	2019/10/31
		4.9 SPAIN GOVT 400730	4.9	4,000	5,486	731,583	2040/7/30
		5.5 SPAIN GOVT 210430	5.5	11,000	13,684	1,824,697	2021/4/30
		5.9 SPAIN GOVT 260730	5.9	8,000	11,130	1,484,127	2026/7/30
ベルギー	国債証券	4.5 BEL GOVT 260328	4.5	2,000	2,694	359,244	2026/3/28

銘柄			当期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
アイルランド	国債証券	0.8 IRISH GOVT 220315	0.8	7,000	7,164	955,314	2022/３/15
		2 IRISH GOVT 450218	2.0	4,000	3,883	517,785	2045/２/18
		2.4 IRISH GOVT 300515	2.4	8,000	8,814	1,175,365	2030/５/15
		3.4 IRISH GOVT 240318	3.4	2,000	2,396	319,575	2024/３/18
小計						21,732,293	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	2.25 GILT 230907	2.25	3,000	3,133	575,400	2023/９/７
		4.25 GILT 551207	4.25	5,700	8,455	1,552,524	2055/12/７
		4.75 GILT 200307	4.75	10,000	11,528	2,116,863	2020/３/７
		6 GILT 281207	6.0	1,000	1,458	267,883	2028/12/７
小計						4,512,671	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	国債証券	3.5 SWD GOVT 390330	3.5	2,000	2,551	36,479	2039/３/30
		5 SWD GOVT 201201	5.0	12,000	14,883	212,826	2020/12/１
小計						249,306	
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	国債証券	1.75 NORWE GOVT 250313	1.75	2,000	2,046	28,631	2025/３/13
		3.75 NORWE GOVT 210525	3.75	7,000	8,011	112,085	2021/５/25
小計						140,717	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	3.25 POLAND 250725	3.25	4,000	3,993	121,970	2025/７/25
		5.25 POLAND 171025	5.25	6,000	6,362	194,298	2017/10/25
		5.25 POLAND 201025	5.25	3,000	3,352	102,380	2020/10/25
		5.75 POLAND 220923	5.75	3,000	3,498	106,833	2022/９/23
小計						525,483	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	3.25 AUST GOVT 250421	3.25	1,700	1,759	154,548	2025/４/21
		5.75 AUST GOVT 220715	5.75	7,000	8,358	734,163	2022/７/15
小計						888,711	
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル		
	国債証券	3.25 SINGAPORGOVT 200901	3.25	1,000	1,057	91,042	2020/９/１
		3.5 SINGAPORGOVT 270301	3.5	1,000	1,083	93,202	2027/３/１
小計						184,245	
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	3.502MALAYSIAGOVT 270531	3.502	3,000	2,705	75,652	2027/５/31
		3.814MALAYSIAGOVT 170215	3.814	5,000	5,059	141,449	2017/２/15
		4.935 MALAYSIAGOV 430930	4.935	1,000	1,013	28,345	2043/９/30
小計						245,446	
南アフリカ				千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券	10.5 SOUTH AFRICA 261221	10.5	5,000	5,191	41,632	2026/12/21
		6.25 SOUTH AFRICA 360331	6.25	21,000	13,606	109,124	2036/３/31
		7.25 SOUTH AFRICA 200115	7.25	11,000	10,232	82,068	2020/１/15
小計						232,825	
合計						53,318,891	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

（2015年12月15日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	53,318,891	93.5
コール・ローン等、その他	3,689,819	6.5
投資信託財産総額	57,008,710	100.0

（注）期末における外貨建純資産（54,556,195千円）の投資信託財産総額（57,008,710千円）に対する比率は95.7%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル＝121.16円	1カナダドル＝88.30円	1メキシコペソ＝6.98円	1ユーロ＝133.34円
1イギリスポンド＝183.62円	1スウェーデンクローネ＝14.30円	1ノルウェークローネ＝13.99円	1ポーランドズロチ＝30.54円
1オーストラリアドル＝87.83円	1シンガポールドル＝86.06円	1マレーシアリンギット＝27.96円	1南アフリカランド＝8.02円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年12月15日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	57,105,332,465
コール・ローン等	692,743,243
公社債(評価額)	53,318,891,392
未収入金	2,602,878,051
未収利息	385,650,496
前払費用	105,169,283
(B) 負債	2,470,773,308
未払金	2,331,161,689
未払解約金	139,611,619
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	54,634,559,157
元本	18,227,595,931
次期繰越損益金	36,406,963,226
(D) 受益権総口数	18,227,595,931口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	29,974円

＜注記事項＞

①期首元本額　24,907,086,979円
　期中追加設定元本額　845,853,594円
　期中一部解約元本額　7,525,344,642円
　また、１口当たり純資産額は、期末2.9974円です。

○損益の状況 (2014年12月16日～2015年12月15日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	1,822,893,480
受取利息	1,822,821,916
その他収益金	71,564
(B) 有価証券売買損益	△ 3,065,134,400
売買益	2,205,115,140
売買損	△ 5,270,249,540
(C) 保管費用等	△ 16,809,712
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 1,259,050,632
(E) 前期繰越損益金	51,087,446,719
(F) 追加信託差損益金	1,695,114,847
(G) 解約差損益金	△15,116,547,708
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	36,406,963,226
次期繰越損益金(Ｈ)	36,406,963,226

(注) (B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

三菱ＵＦＪ バランスインカムオープン（毎月決算型）	7,422,443,571円
三菱ＵＦＪ ＤＣ金利連動アロケーション型バランスファンド	331,949,643円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５	21,974,409円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０	46,492,372円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５	13,180,678円
三菱ＵＦＪ 海外債券オープン	3,390,884,407円
三菱ＵＦＪ グローバルバランスオープン 株式２０型	58,988,330円
三菱ＵＦＪ グローバルバランスオープン 株式４０型	25,712,705円
三菱ＵＦＪ 海外債券オープン（３ヵ月決算型）	4,438,564,332円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	81,993,787円
三菱ＵＦＪ 海外債券オープンＶＡ（適格機関投資家限定）	154,964,671円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド ２５ＶＡ（適格機関投資家限定）	1,341,017,650円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド ５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	899,429,376円
合計	18,227,595,931円

［ お 知 ら せ ］

2015年７月１日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2015年７月１日)